

ChattyInfty3 用の点字変換プラグインソフト

IMLtoBraillePluginSet (Ver.1.5.0)

本ソフトウェアは数学用の文書エディタ ChattyInfty3 に、点字変換機能を追加するためのフリーのプラグインソフトウェアです。

1. はじめに仮名分かち書き変換を行い、仮名分かち書きの変換結果を確認修正
2. ChattyInfty3 の仮名分かち書き文書を点字に変換

と、2段階の処理で数式を含む文書を点字文書に変換することが出来ます。

点字変換の結果は同じくサクセスネットのサイトで公開されている点字エディタ BrailleInfty (フリーソフト) で確認、修正が出来ます。BrailleInfty は仮名や数学記号を墨字で表記しながら正確な点字を編集するためのソフトウェアです。数符や大文字、外文字、つなぎ符などの一定の点字に関する知識は必要ですが、墨字表記と点字による記号表記が正確に対応しているため、点字文書を読めなくても墨字表記のまま正確な点字を編集することが出来るソフトです。

BrailleInfty で確認後、BSE 形式の点字ファイル出力が出来ますので、通常の点字エディタで編集、印刷などが出来ます。

また、上記 2. の点字変換処理では、BrailleInfty を経由せずに、直接点字ファイルで出力することも出来ます。出力ファイル形式は BSE 形式のみです。

1. 動作環境

本ソフトウェアを使うためには、次のソフトが必要です。

1. ChattyInfty3 が必要です。学生版 (フリーソフト) でも使えます。ChattyInfty3 は次のサイトからダウンロードして下さい: <http://www.sciaccess.net/jp/ChattyInfty/>

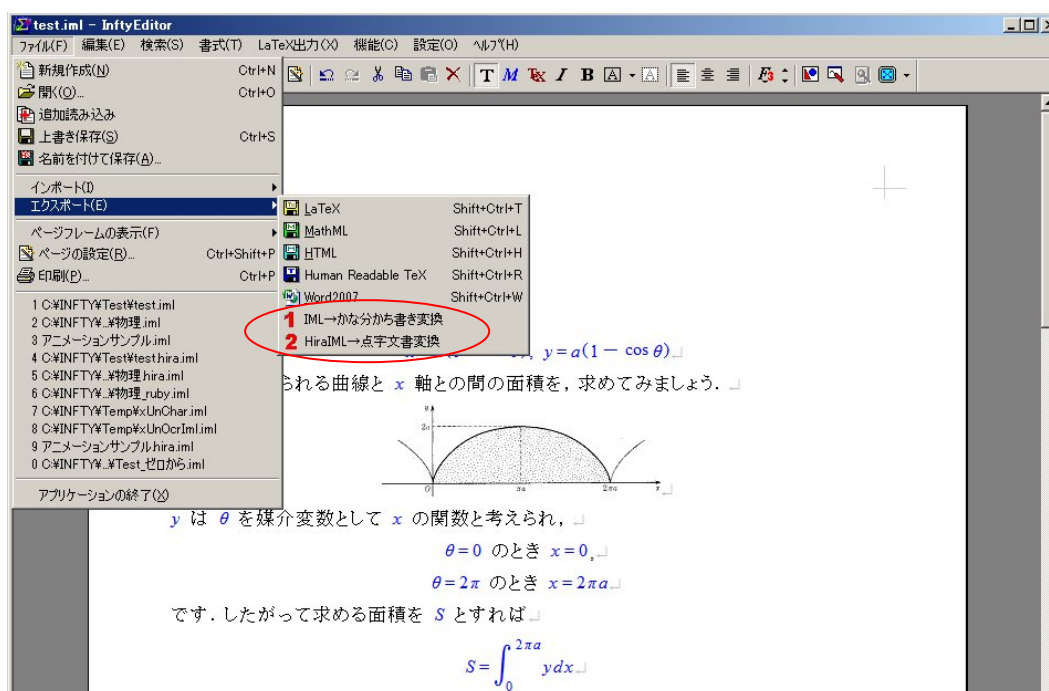
2. 前のバージョンでは自動点訳ソフトウェア EXTRA for Windows (Ver.4 以後のもの) が必要でしたが、今回のバージョンでは形態素解析エンジン MECAB を組みこんで利用しているため、Extra は不要です。MECAB については、次のサイトをご参照下さい。

<http://taku910.github.io/mecab/>

また、前のバージョン (Ver.1.4.2) では、java のランタイムが必要でしたが、今回のバージョンでは不要です。

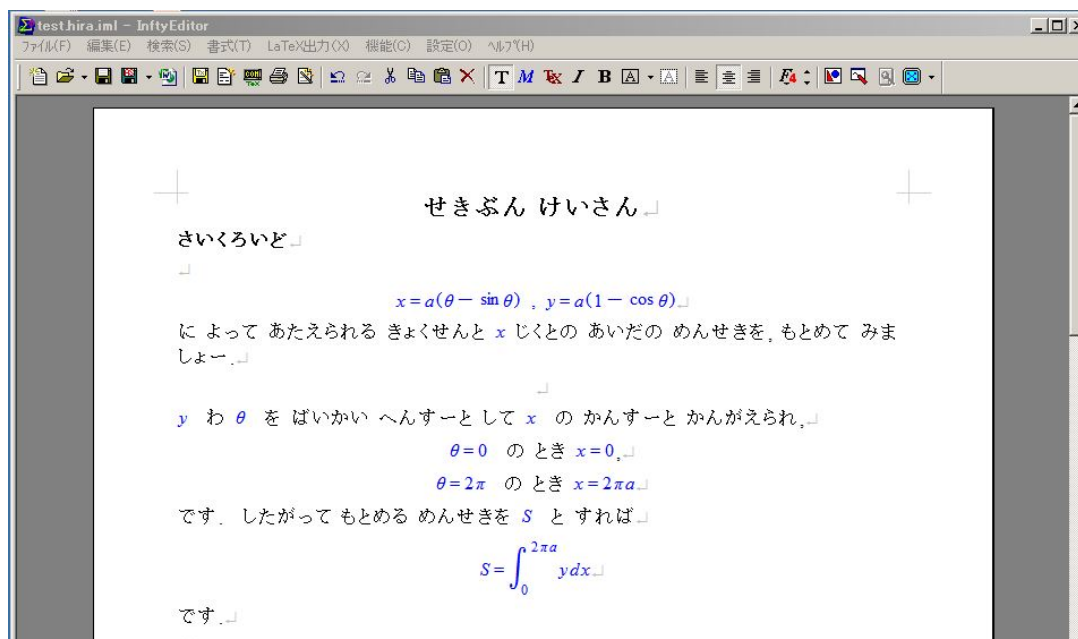
2. インストール

同梱の IMLtoBraille150_Setup.exe を実行してインストールして下さい。インストール先フォルダは ChattyInfty3 と同じフォルダを指定して下さい。例えば 64bit 版の Windows7 或いは Windows8 で ChattyInfty3 を初期設定のままインストールした場合、C:\Program Files (x86)\AccessNet\ChattyInfty3 というフォルダになります。インストール後 ChattyInfty3 を起動して、「ファイル」メニューから「エクスポート」を選択したときに、下図のように「IML→仮名分かち書き文書変換」と、「HiraIML→点字文書変換」の項目があれば、インストールは正しく行われています。



2. 使い方

編集した ChattyInfy3 のデータに対して、先ず「かな分かち書き変換」を実行して下さい。すると、すべての漢字を平仮名に変換して、単語毎に分かち書きされた文章に変換され、変換結果が ChattyInfy3 の新しい Window に開きます。



変換結果のファイル名は、元のファイルが aaa.imlx の場合、生成される平仮名ファイルは aaa.hira.imlx になります。この平仮名ファイルを ChattyInfy3 で確認し、読みに誤りがあれば修正し、名前を変えずに保存します。

次に、平仮名ファイル (aaa.hira.imlx) の編集画面で、「エクスポート」で「HiraIML→点字文書変換」を選択して実行します。

IMLtoBraille - ver. 1.4.1

出力

変換するIMLファイル C:\INFTY\Test\testhira.iml 参照

出力する点字ファイル C:\INFTY\Test\testbml 参照

☒ BSEファイルも出力する

設定

ページ設定

1行 32 文字

数式変換

☒ 高校 ☐ 大学・専門書

見出しの開始位置

大見出し 9 マス目

中見出し 7 マス目

小見出し 5 マス目

詳細設定

☒ 2乗、3乗、-1乗に略字を使う

☒ 一行の右下数字に下がり数字を使う

☐ 位取り点を使う

☒ 数式内で二重大文字符を使う

数式番号の位置

☒ 数式の後 (点でつないで数式符なし)

☐ 数式の上 (数式符あり)

実行

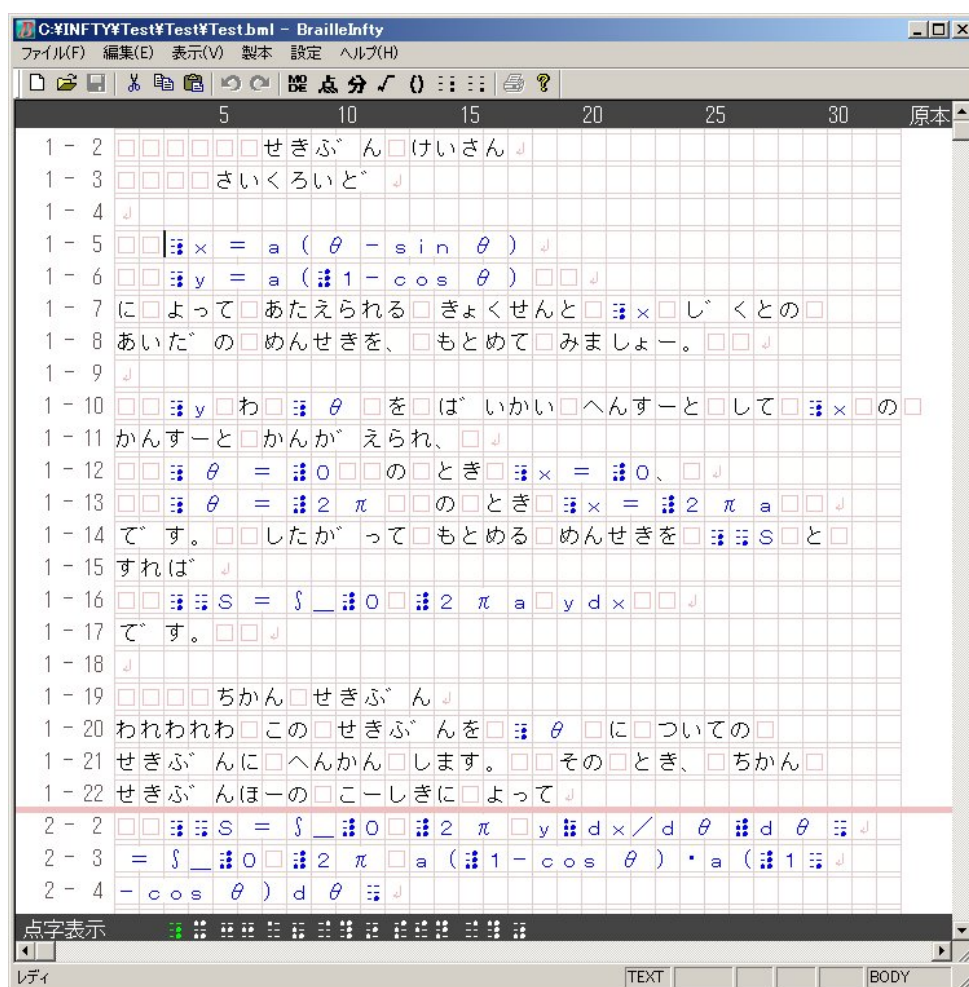
すると、点字変換の設定画面が現れますので、目的に合わせて設定を行って下さい。

中学や高校レベルの数学の文書の点字変換の場合は、数式変換で「高校」を選択します。また、通常の中学高校の生徒のための文書では、詳細設定で、「2乗、3乗、-1乗に略記を使う」、「一行の右下数字に下がり数字を使う」等々のチェックボックスは、特に依頼者からの要望が無い場合は、一般的にはチェックを入れて変換することをおすすめします。こうすることで、日本点字図書館発行の「点字数学記号解説（暫定版）」に準拠した点字変換が行われます。

大学レベルの理数系の文書を点訳する場合は、上記の点字数学記号解説では表記できない数式が多くありますので、数式変換で「大学・専門書」の方にチェックを入れて変換を行って下さい。点訳グループ「シグマ」など、日本の大学の理数系文書点訳で行われている数式表記ルールに従って点字変換が行われます。詳しくは添付の「数学専門書点訳の手引き」をご覧ください。

「出力する点字ファイル」の下にある、「BSE ファイルも出力する」にチェックを入れると、BrailleInfty 用のファイル(BML ファイル) 以外に、直接点字ファイル(BSE ファイル) も出力されます。

設定を確認後、「実行」ボタンを押すと、点字変換が行われ、BrailleInfty がインストールされていれば、変換結果は直ちに BrailleInfty で表示されます。(次ページの図参照)



BrailleInfty の使い方については、本パッケージに同梱の BrailleInfty のインストーラに添付のヘルプファイルをご覧ください。

以上

問い合わせ先：

NPO法人サイエンス・アクセシビリティ・ネット

e-mail: support[@]mail.sciaccess.net

URL: <http://www.sciaccess.net/>